

## 久しぶりの北穂高岳

メンバー 福澤卓三  
日時 8月14日  
コースタイム 徳沢（10：30）－横尾（11：30）－涸沢（16：00）

昨日の蝶ヶ岳往復の疲れと、夜中の雨と朝方のはっきりしない天候で気分が晴れない。休みがあり北穂高に登る予定なので、本日帰る横山さん、田辺さん、勝ちちゃんを雨の中、見送る。その後少晴れたので、シュラフを乾かしながら徳澤園でコーヒーを飲む。一休みしたところで、さあいくぞと気合を入れパッキングをして徳沢をあとにする。

歩き始めるとまた雨が降ってきてがっくり来る。雨具を出し1時間で横尾に着いた。立ったまま少し休んで歩き始めた。雨のせいか下山者がかなり多い。穂高に登ったのだろうか？

1ピッチ程行くと、どんどんおい抜かれる。ザックの重さもあるが年のせいだろう。私のキスリングを意外なほど懐かしがってくれる。

涸沢は下山時に通過することが多く、急いで下山していたので、涸沢までアプローチを、はじめてじっくり経験した。登りになり、さらにきつくなり、かなりばてて涸沢にはいった。涸沢ヒュッテの近場に幕を張ったが、テントサイトがせまく後悔した。夜また雨が降り、連日の雨で心身共にまいった。

日時 8月15日  
コースタイム 涸沢（6：00）－草付取付点（6：30）－奥穂高への分岐（9：20）－北穂高頂上（9：30）－涸沢（12：00－14：00）－横尾（17：00）－徳沢（18：10）－明神（19：30）－上高地（20：20）

昨夜の雨と、快適でないテントサイトで気が滅入ってしまったので、本日の予定は、南稜から北穂に登った後、テントを撤収して上高地までおりにした。

テントが飛ばされないようにまわりに石を敷いて出発した。涸沢小屋の右わきの踏跡をとおり、北穂沢を登っていく。連日の雨で沢の水量もかなり多い。30分ほど登り左側の草付帯にルートをとる。しばらく草付帯を登っていくと、岩場がでてくる。ペンキの道標に導かれながら登っていく。

北穂に涸沢から登るのは初めてで新鮮である。道標はべたべた付いているが、多くの登山者が登るため、登山道の整備や遭難の防止のためには仕方がないだろう。3時間ほどで北穂のキャンプサイトがでてくる。そこから10分で奥穂との分岐点にでる。またそこから10分で頂上である。ガスで何も見えない。滝谷に登るような登山者には一人も合わなかった。奥穂からの縦走は風が強く一人だけのようだ。

早めに下り涸沢で昼食をとって急いで下山したが、明神に着くころには、キャップライトなしでは歩けないほどだった。月も星もなければ真っ暗で道も見えない。20時過ぎのため上高地から釜トンネル出口のゲートまで、ゲートから沢渡までとタクシーを乗継いで、沢渡の駐車場についた。

以上